

2015年3月期 上半期決算説明会

2014年10月31日
TDK株式会社

◆2015年3月期 上半期連結業績概要

執行役員 桃塚 高和

◆2015年3月期 通期見通しについて

代表取締役社長 上釜 健宏

2015年3月期 上半期連結業績概要

執行役員
桃塚 高和

- ◆売上は過去最高の5,023億円。
営業利益は前年同期から64%増の279億円。
- ◆受動部品の売上・営業利益が半期ベースで過去最高。
(営業利益は前年同期から倍増)
自動車市場向け、中国・北米スマホ向け販売が好調。
- ◆フィルム応用製品は、1Qは低調も上半期では
前年同水準の利益を確保。二次電池が2Qから
北米スマホ向け販売が好調に推移。

2015年3月期 上半期連結業績概要

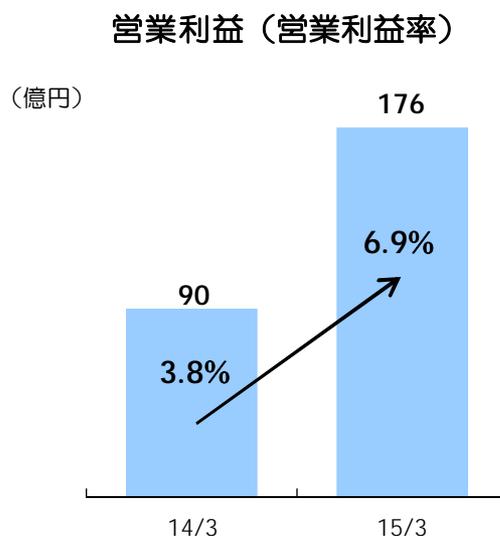
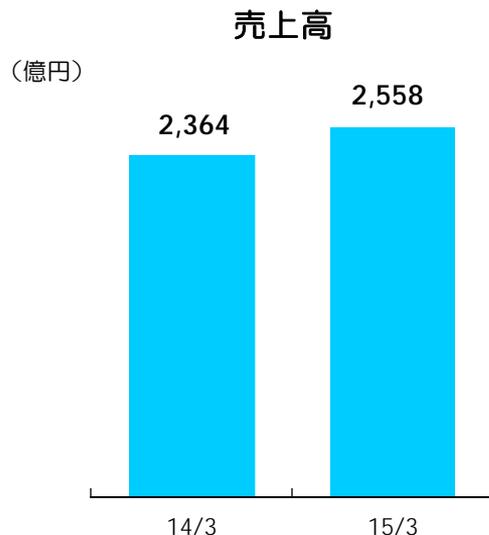


連結売上高は5,023億円、営業利益は279億円

(億円)	2014年3月期 第2四半期累計実績 (2013.4.1~2013.9.30)	2015年3月期 第2四半期累計実績 (2014.4.1~2014.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	4,838	5,023	185	3.8
営業利益	170	279	109	64.1
営業利益率	3.5%	5.6%	+2.1pt	-
継続事業税引前利益	181	274	93	51.4
継続事業純利益	108	196	88	81.5
非継続事業純利益	△ 38	-	-	-
非支配持分利益	6	14	8	133.3
当期純利益	64	181	117	182.8
1株当たり利益 (円)	50.90	144.17	-	-
為替	対ドルレート (円)	98.88	103.02	4.2%の円安
	対ユーロレート (円)	130.04	138.96	6.9%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約169億円の増収 営業利益：約32億円の増益			

(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

売上高 2,558億円（前年同期比8.2%増）
営業利益 176億円（前年同期比95.6%増）



●セラミックコンデンサ

- ・堅調な自動車市場を中心に前年同期より売上増
- ・生産性改善により利益率向上

●インダクティブデバイス

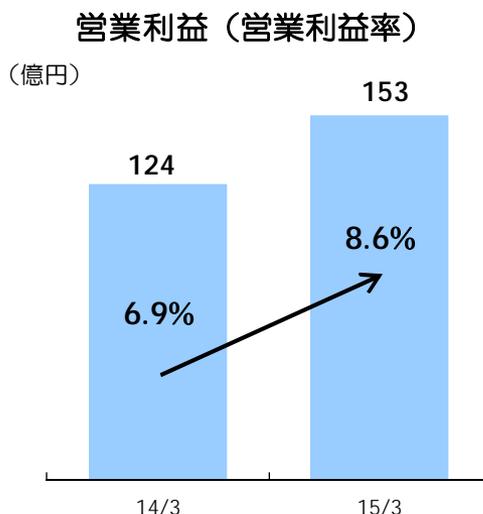
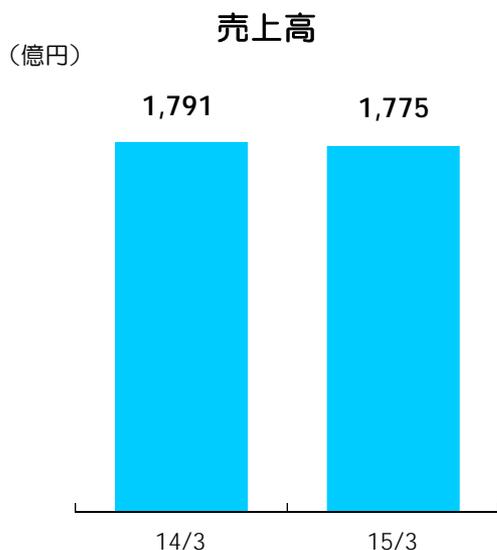
- ・好調なICT市場（特に通信機器向け）及び堅調な自動車市場向けで売上が増加
- ・品種構成の良化により利益拡大

●高周波部品

- ・旺盛な中国スマホ向け需要を中心にディスクリート製品の販売好調
- ・生産性改善効果や品種構成の良化により収益は大幅改善

●圧電材料部品

- ・自動車向け部品やカメラモジュール用VCMの販売増加により前年同期比増収増益



売上高 1,775億円（前年同期比0.9%減）
営業利益 153億円（前年同期比23.4%増）

●記録デバイス（HDDヘッド）

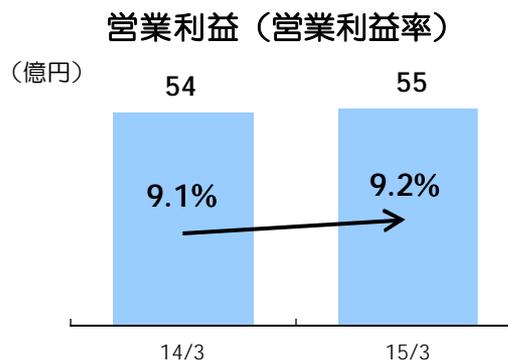
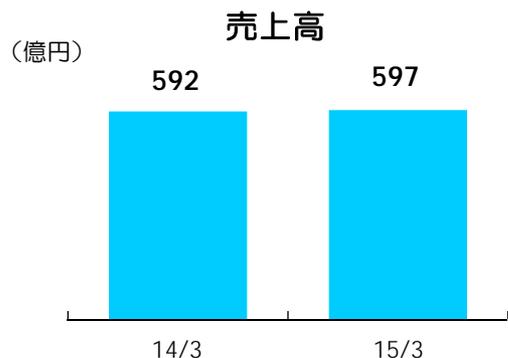
- ・出荷数量は前年同期より減少も、生産性改善効果や品種構成の良化により前年同水準の利益を確保

●マグネット

- ・前年同期に発生したフェライトマグネットの拠点集約費用がなくなったこと等により前年同期より赤字縮小

●電源

- ・半導体製造装置、FA機器、計測機器等の産業機器市場向け販売が堅調に推移し黒字化



売上高 597億円（前年同期比0.8%増）
営業利益 55億円（前年同期比1.9%増）

● エナジーデバイス（二次電池）

- 1 Qは北米主要顧客向け新機種販売前の生産調整により販売は低調だったものの、2Qから北米向け販売が大きく立ち上がるとともに、中国向け販売も拡大。

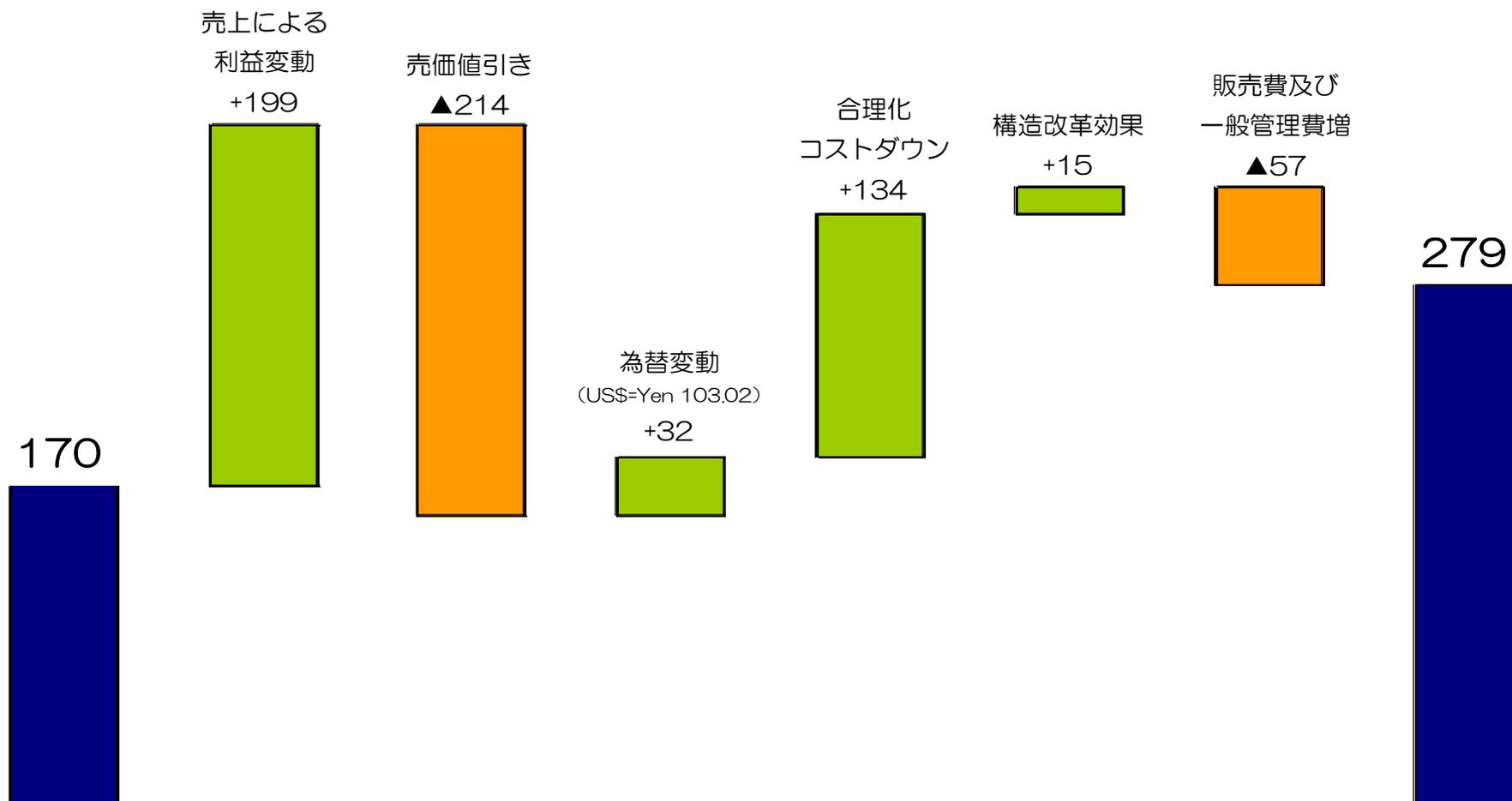
営業利益増減分析

2014年3月期
上半期
170億円

営業利益 +109億円

2015年3月期
上半期
279億円

(単位：億円)



2015年3月期 第2四半期連結業績概要



(億円)	2014年3月期 第2四半期実績	2015年3月期 第2四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,494	2,648	154	6.2
営業利益	125	183	58	46.4
営業利益率	5.0%	6.9%	+1.9pt	-
継続事業税引前利益	129	170	41	31.8
継続事業純利益	93	133	40	43.0
非継続事業純利益	△ 33	-	-	-
非支配持分利益	△ 1	9	10	-
当期純利益	60	124	64	106.7
1株当たり利益 (円)	47.95	98.43	-	-
為替	対ドルレート (円)	99.02	103.86	4.9%の円安
	対ユーロレート (円)	131.11	137.77	5.1%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約111億円の増収 営業利益：約22億円の増益			

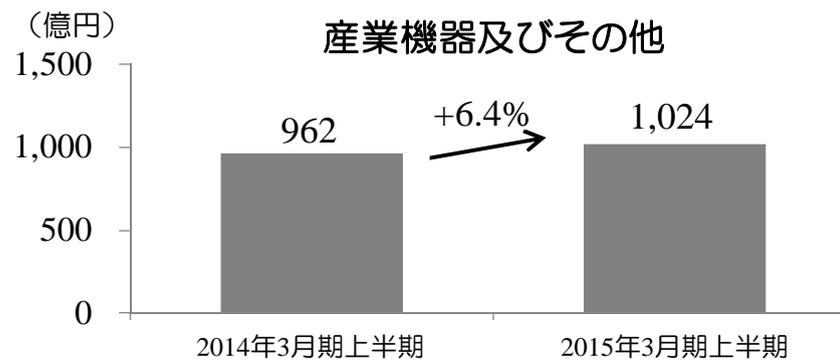
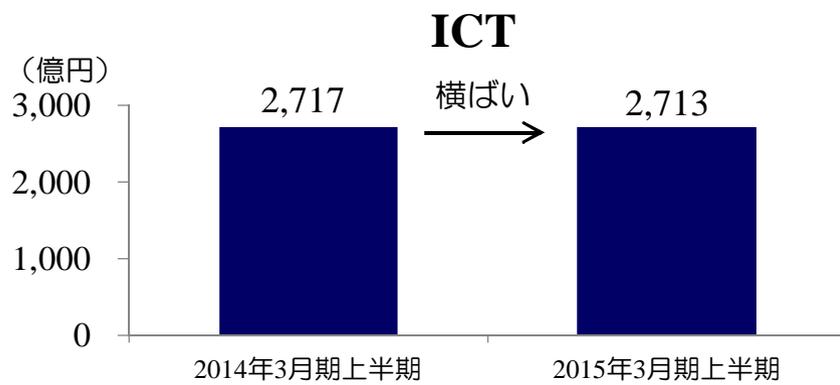
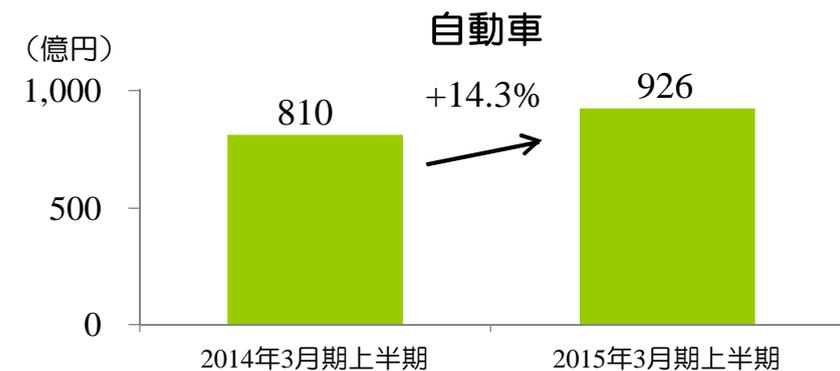
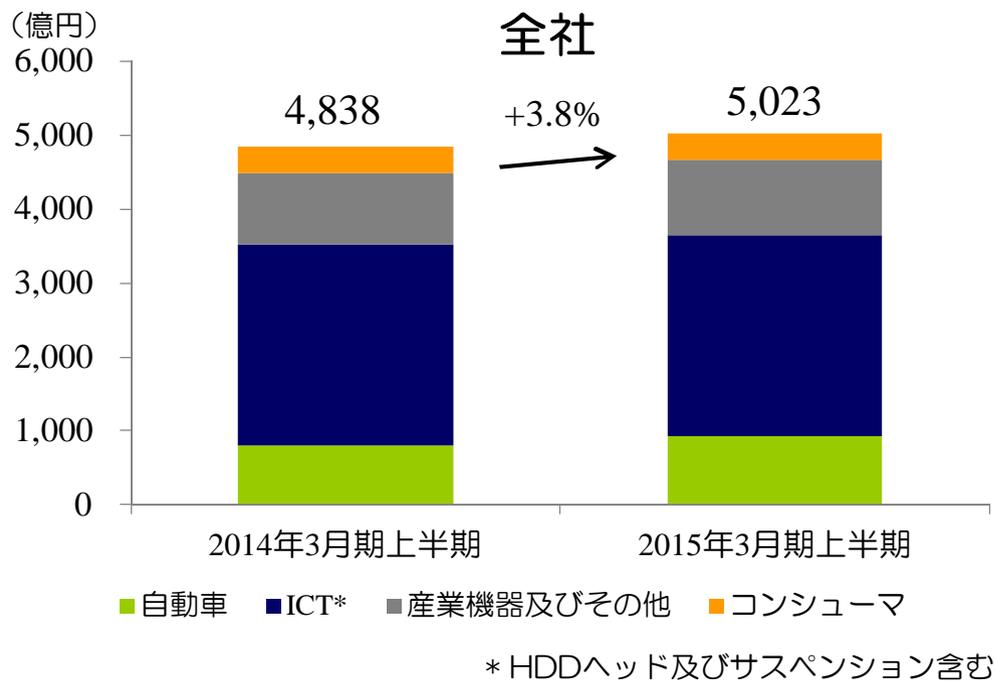
(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

セグメント別四半期実績



(億円)		2014年3月期 第2四半期 (A)	2015年3月期 第1四半期 (B)	2015年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	351	365	373	22	6.3	8	2.2
	インダクティブデバイス	355	367	388	33	9.3	21	5.7
	その他受動部品	488	502	562	74	15.2	60	12.0
	受動部品合計	1,194	1,234	1,324	130	10.9	90	7.3
	記録デバイス	663	591	637	△ 26	△ 3.9	46	7.8
	その他磁気応用製品	266	280	267	1	0.4	△ 13	△ 4.6
	磁気応用製品合計	929	871	904	△ 25	△ 2.7	33	3.8
	フィルム応用製品合計	327	225	372	45	13.8	147	65.3
	その他	44	45	48	4	9.1	3	6.7
	合計	2,494	2,375	2,648	154	6.2	273	11.5
営業利益	受動部品	62	78	98	36	58.1	20	25.6
	磁気応用製品	78	71	82	4	5.1	11	15.5
	フィルム応用製品	33	3	52	19	57.6	49	-
	その他	△ 8	△ 4	1	9	-	5	-
	小計	165	148	233	68	41.2	85	57.4
	全社および消去	△ 40	△ 52	△ 50	△ 10	-	2	-
	合計	125	96	183	58	46.4	87	90.6
	営業利益率	5.0%	4.0%	6.9%	+1.9pt	-	+2.9pt	-
為替	対ドルレート(円)	99.02	102.17	103.86				
	対ユーロレート(円)	131.11	140.17	137.77				

重点分野別の売上



自動車：
受動部品の売上拡大

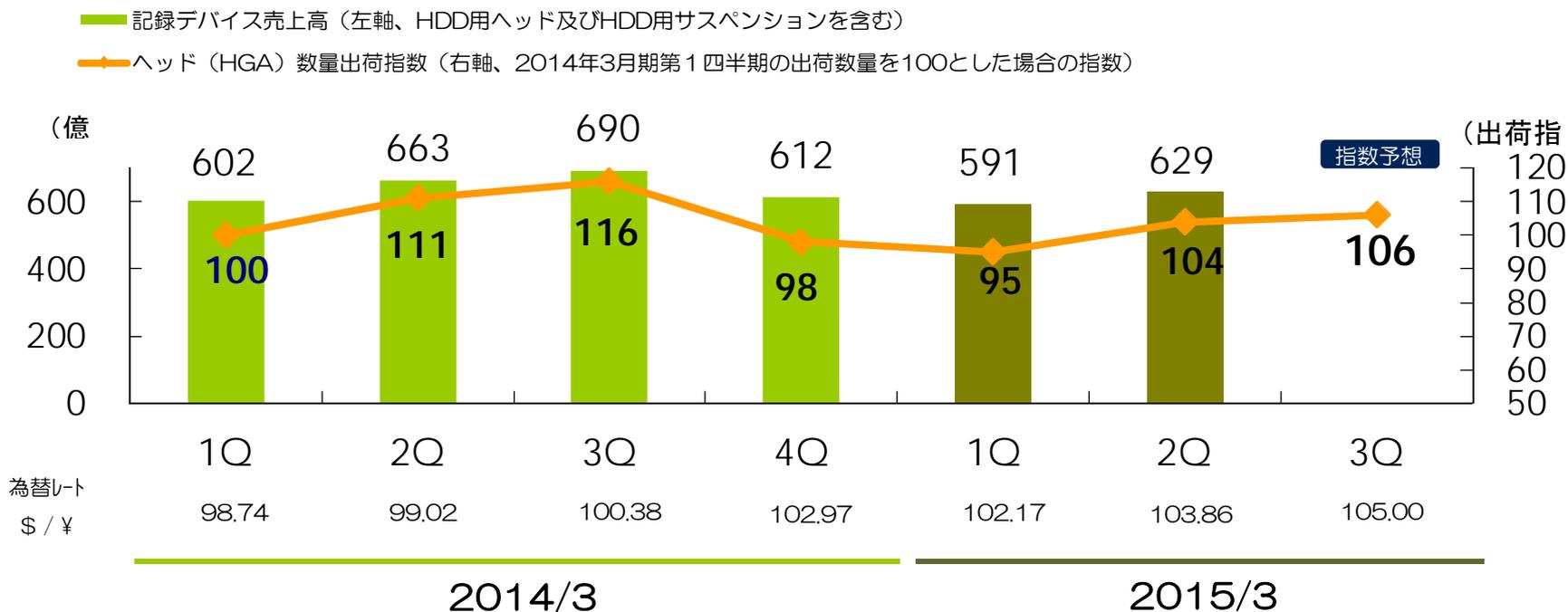
ICT（情報通信技術）：
受動部品の売上拡大
HDDヘッドの売上減少

産業機器及びその他：
産業機器向け電源の売上拡大

◆2015年3月期のHDD（ハードディスク）市場 ※当社推定

- 約5.35億台（4月末時点）
- 約5.52億台（7月末時点）
- 約5.60億台（現在推定、前回推定より800万台増加）

◆当社のHDDヘッド出荷指数推移



2015年3月期 通期見通しについて

代表取締役社長
上釜 健宏

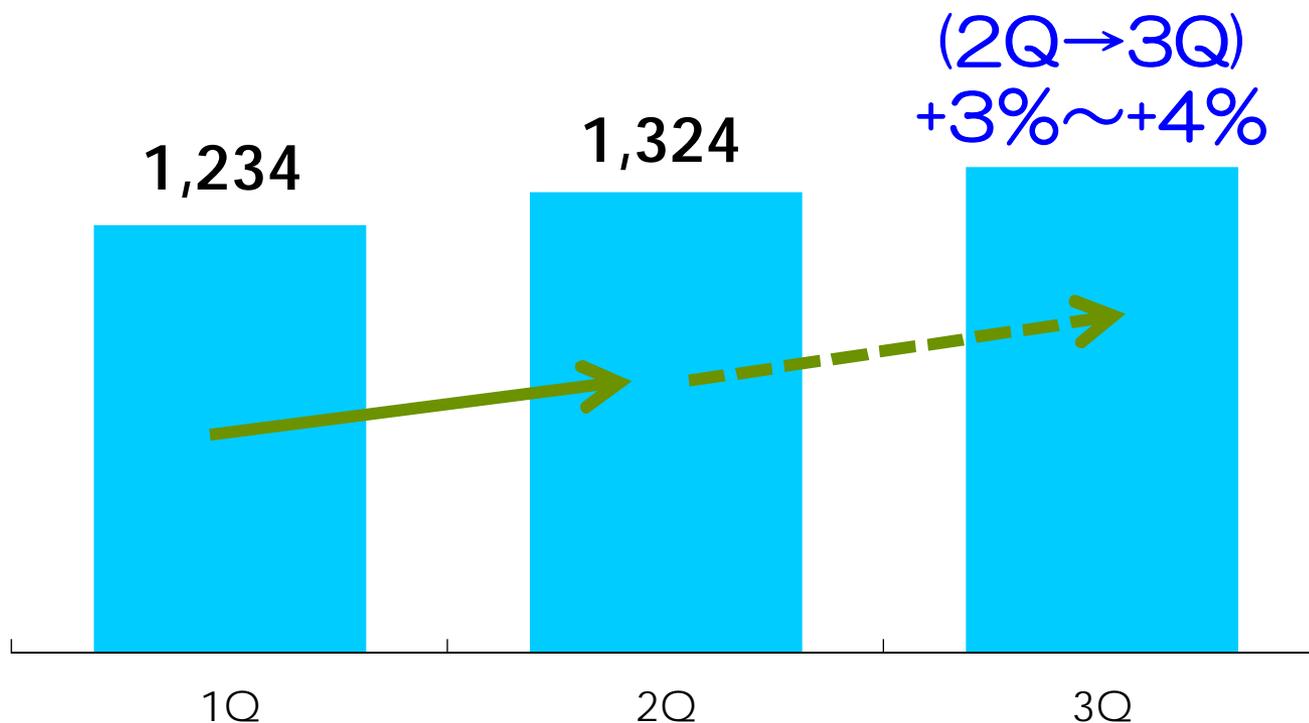
重点市場	市場動向	
ICT	↗	中国スマホは2Q調整から3Q生産回復へ
	↗	北米スマホ好調、3Q生産ピークで4Qも前年を上回る見込み
	→	HDD市場は期初想定より下期も堅調に推移する見込み
自動車	→	欧米メーカー中心に下期も堅調に推移する見込み
	→	国内は上期販売台数前年割れ、下期横ばい、微増の予測
	→	xEV*は主要市場の日本や米国で販売台数の伸びが鈍化
産業機器	→	工作機械、ロボット関係は下期も好調維持の見込み

→(矢印)は上期に対する変化イメージ

*xEV: EV、HEV、PHEV

事業	製品	下期動向
受動部品	インダクタ	金属系（薄膜、積層）製品の販売拡大 高周波コイル（積層）の需要増
	高周波部品	ディスクリット製品の販売増加
	圧電材料部品	VCM（高画素、高特性品）の販売増加、OIS引合い増加
磁気応用	HDDヘッド	2Q→3Q数量増加
	マグネット	HDD用VCM、磁石の販売減少
	電源	EV電源の顧客需要下振れ
フィルム応用	二次電池	北米、中国向け需要は3Qがピーク 4Qも前年同期比プラスの見込み

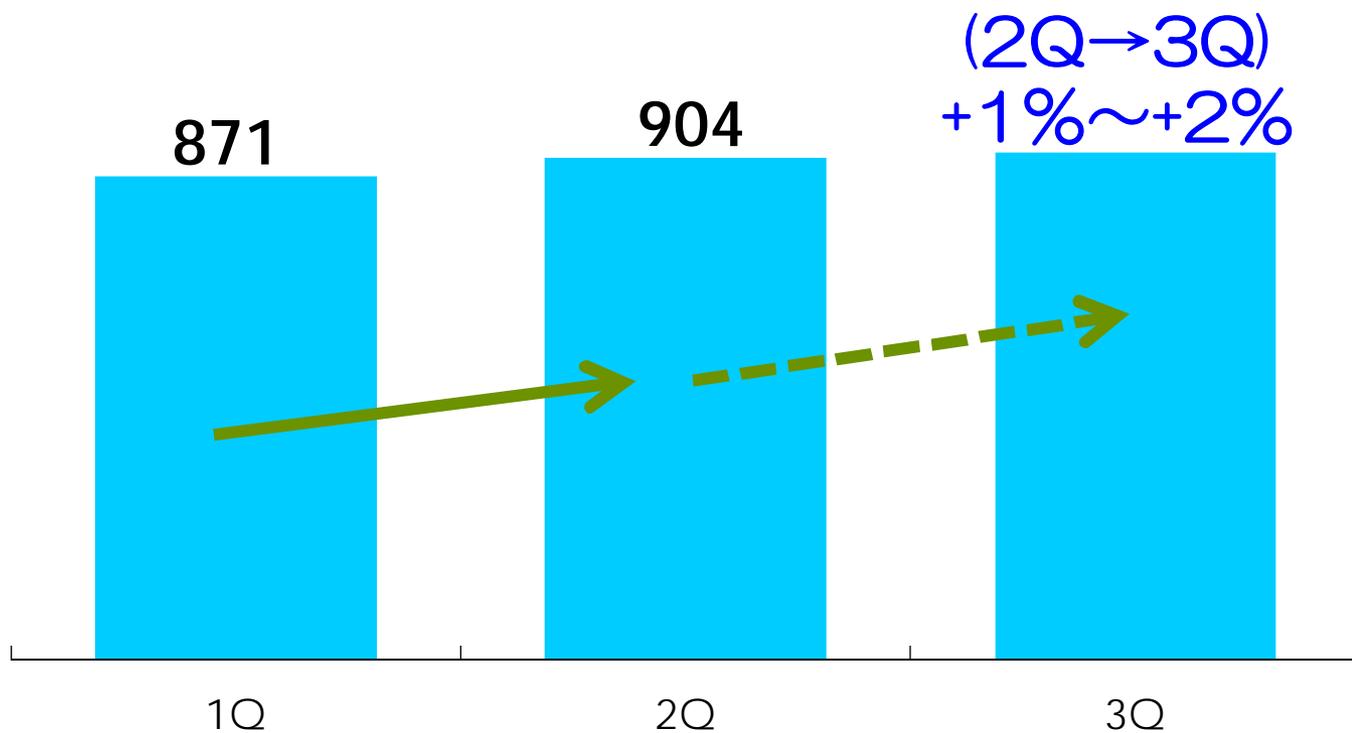
受動部品



為替レート

	1Q実績	2Q実績	3Q想定
対ドルレート (円)	102.17	103.86	105.00
対ユーロレート (円)	140.17	137.77	135.00

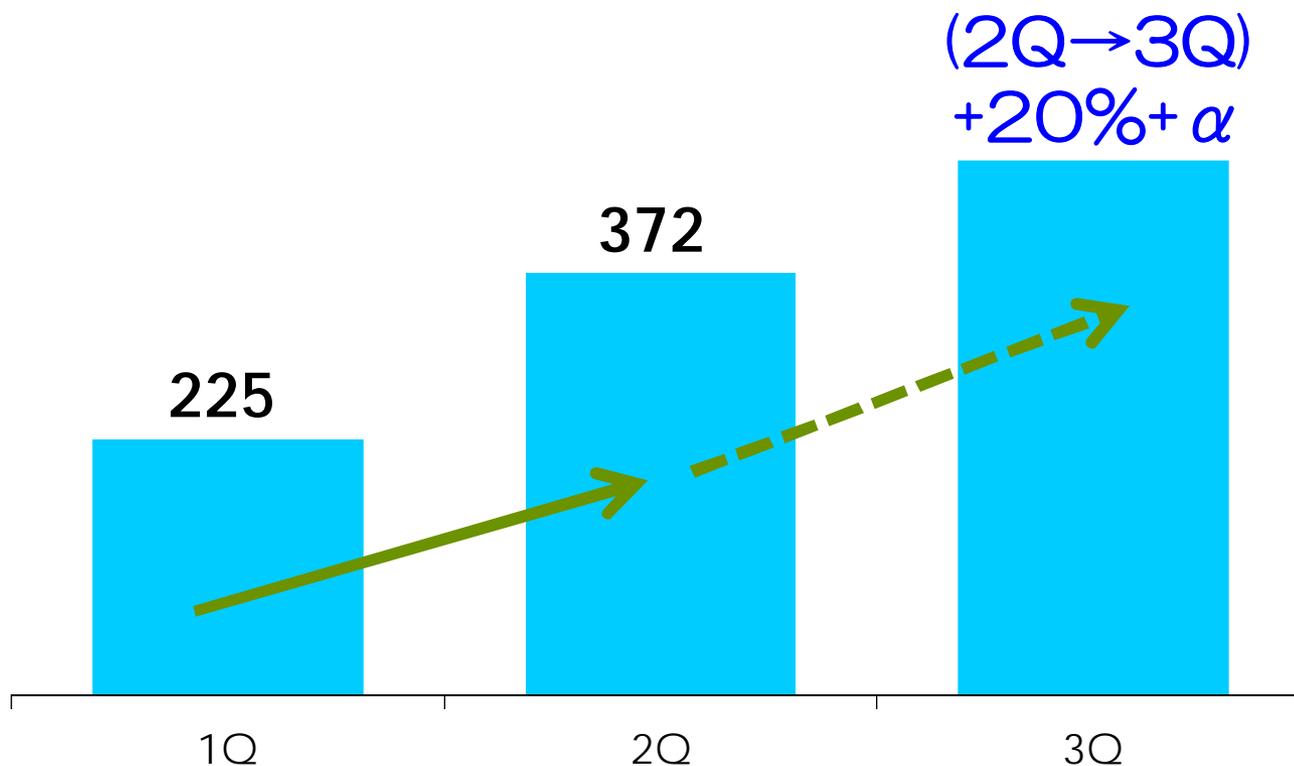
磁気応用製品



為替レート

	1Q実績	2Q実績	3Q想定
対ドルレート (円)	102.17	103.86	105.00
対ユーロレート (円)	140.17	137.77	135.00

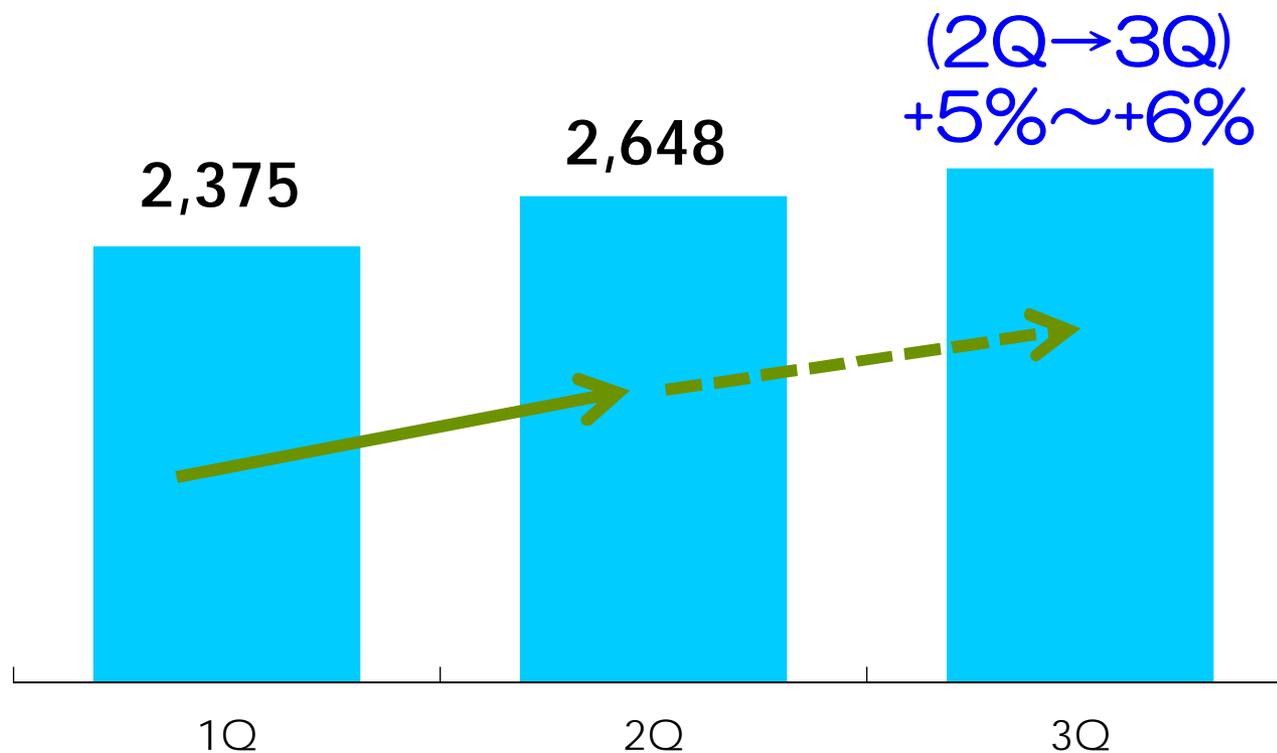
フィルム応用製品



為替レート

	1Q実績	2Q実績	3Q想定
対ドルレート (円)	102.17	103.86	105.00
対ユーロレート (円)	140.17	137.77	135.00

全社



為替レート

	1Q実績	2Q実績	3Q想定
対ドルレート (円)	102.17	103.86	105.00
対ユーロレート (円)	140.17	137.77	135.00

2015年3月期 連結業績予想及び配当金見通し



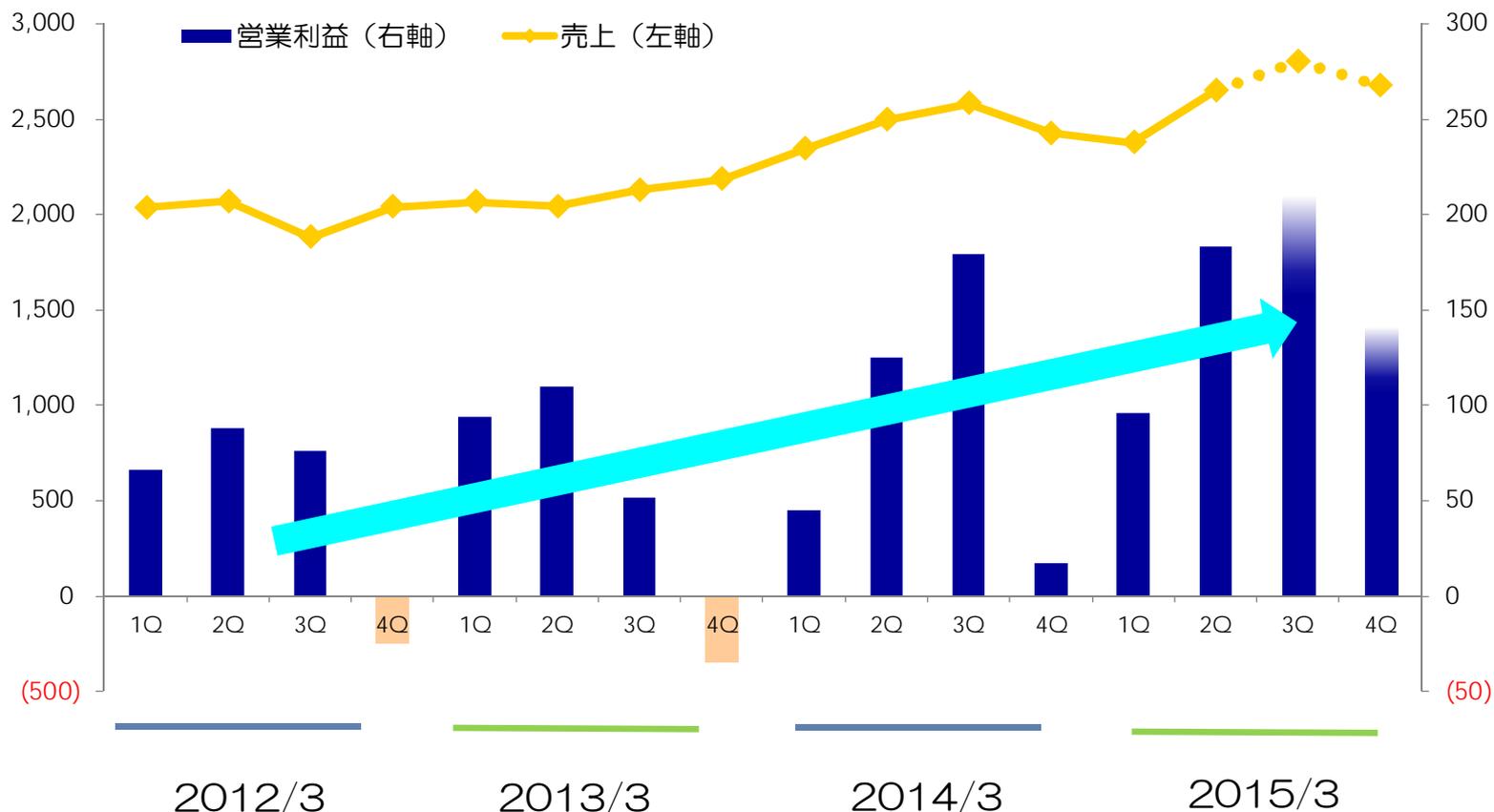
期初公表値（4月28日）から上方修正

(億円)	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 業績予想 (期初公表値)	2015年3月期 業績予想 (修正版)	修正業績予想対前年同期比	
				増減	増減率(%)
売上高	9,845	10,500	10,500	655	6.7%
営業利益	366	570	630	264	72.1%
営業利益率	3.7%	5.4%	6.0%	+2.3pt	-
継続事業税引前利益	398	560	620	222	55.8%
当期純利益	163	340	370	207	127.0%
1株当たり利益(円)	129.47	270.23	293.98	-	-
配当金(円)	上期：30円 下期：40円 年間：70円	上期：40円 下期：40円 年間：80円	上期：40円 下期：40円 年間：80円	-	-
為替	対ドルレート	100円26銭	100円	下期 105円	-
	対ユーロレート	134円42銭	135円	下期 135円	-
固定資産の取得 (設備投資)	686	800	900	214	31.2%
減価償却費	829	830	830	1	0.1%
研究開発費	634	680	680	46	7.3%

受動部品事業を大幅に改善。
 バランスの取れた利益構造で、全社の収益力を一段と強化。

売上：億円

営業利益：億円



補足資料

売上高及び営業利益の四半期推移



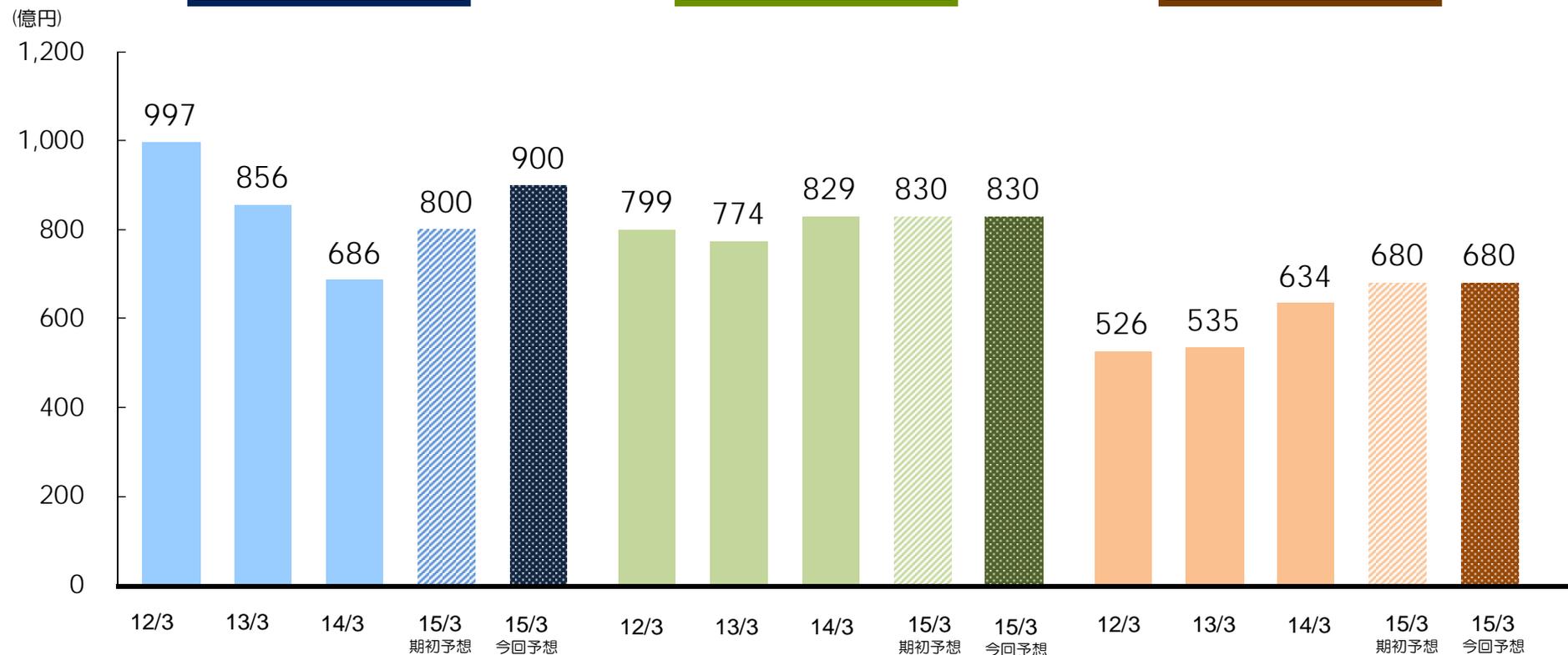
		2014年3月期					2015年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	337	351	347	361	1,396	365	373			
	インダクティブデバイス	350	355	349	349	1,403	367	388			
	その他受動部品	483	488	475	471	1,917	502	562			
	受動部品合計	1,170	1,194	1,171	1,181	4,717	1,234	1,324			
	記録デバイス	602	663	690	612	2,567	591	637			
	その他磁気応用製品	260	266	268	283	1,077	280	267			
	磁気応用製品	862	929	957	895	3,643	871	904			
	フィルム応用製品	265	327	410	291	1,293	225	372			
	その他	47	44	43	58	193	45	48			
合計	2,344	2,494	2,582	2,425	9,845	2,375	2,648				
営業利益	受動部品	28	62	61	3	154	78	98			
	磁気応用製品	46	78	103	54	281	71	82			
	フィルム応用製品	21	33	68	11	134	3	52			
	その他	△ 8	△ 8	△ 8	△ 8	△ 32	△ 4	1			
	小計	87	165	224	61	537	148	233			
	全社および消去	△ 43	△ 40	△ 44	△ 45	△ 171	△ 52	△ 50			
合計	45	125	179	17	366	96	183				
為替	対ドルレート (円)	98.74	99.02	100.38	102.97	100.23	102.17	103.86			
	対ユーロレート (円)	128.96	131.11	136.56	141.12	134.42	140.17	137.77			

2015年3月期各種費用見通し

固定資産の取得

減価償却費

研究開発費



(億円)	2014年3月末	2014年6月末	2014年9月末	対6月末比 増減
総資産	12,396	12,413	13,123	710
負債合計	5,873	6,052	6,202	150
株主資本	6,353	6,182	6,737	555
(うち包括利益)	△ 871	△ 968	△ 519	449
株主資本比率	51.3%	49.8%	51.3%	+1.5pt
現預金・短期投資残高 (*1)	2,595	2,575	2,583	8
有利子負債 (*2)	2,670	2,818	2,673	△ 145
ネットキャッシュ (*3)	△ 75	△ 243	△ 90	153

*1:現金及び現金同等物+短期投資

*2:短期借入債務+一年以内返済予定の長期借入債務+長期借入債務

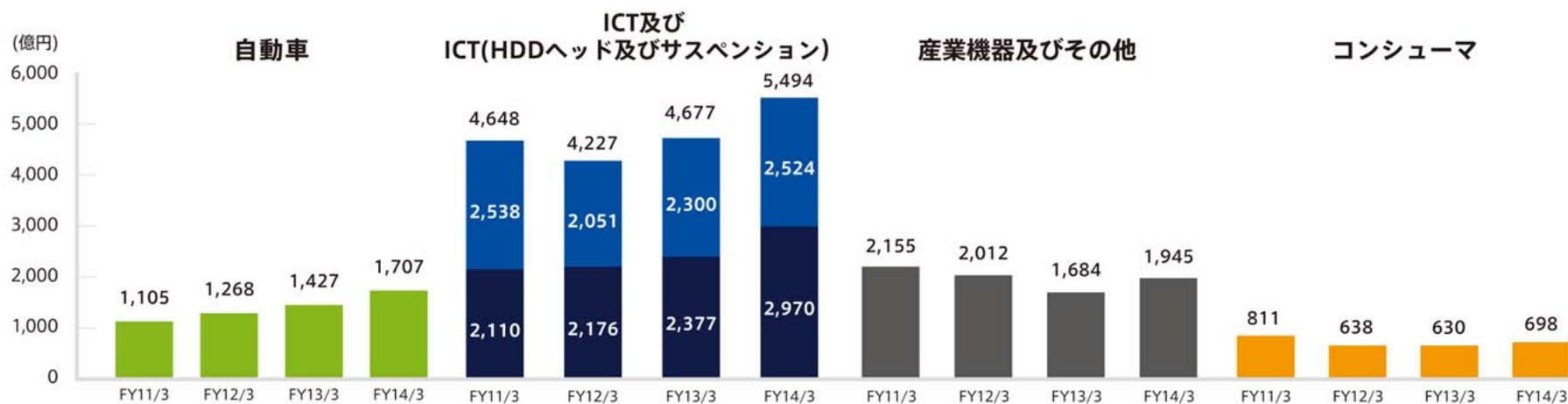
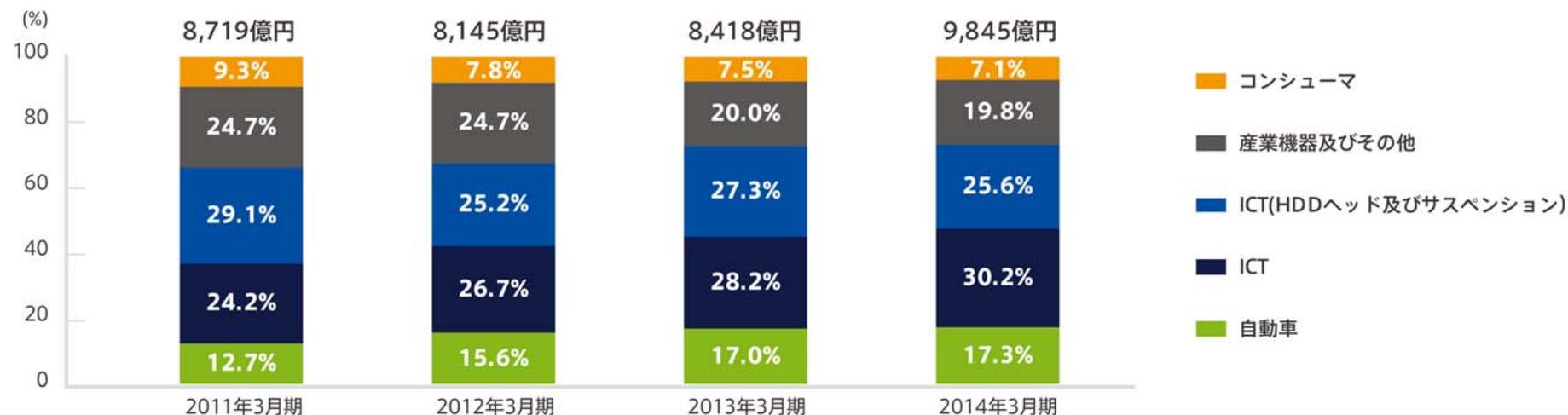
*3:現預金・短期投資残高-有利子負債

キャッシュフロー

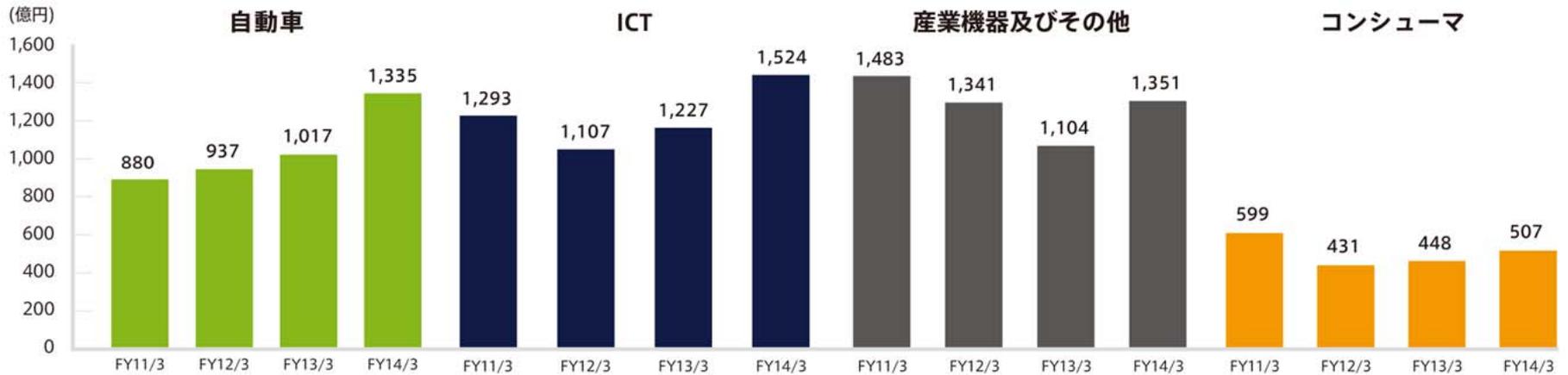
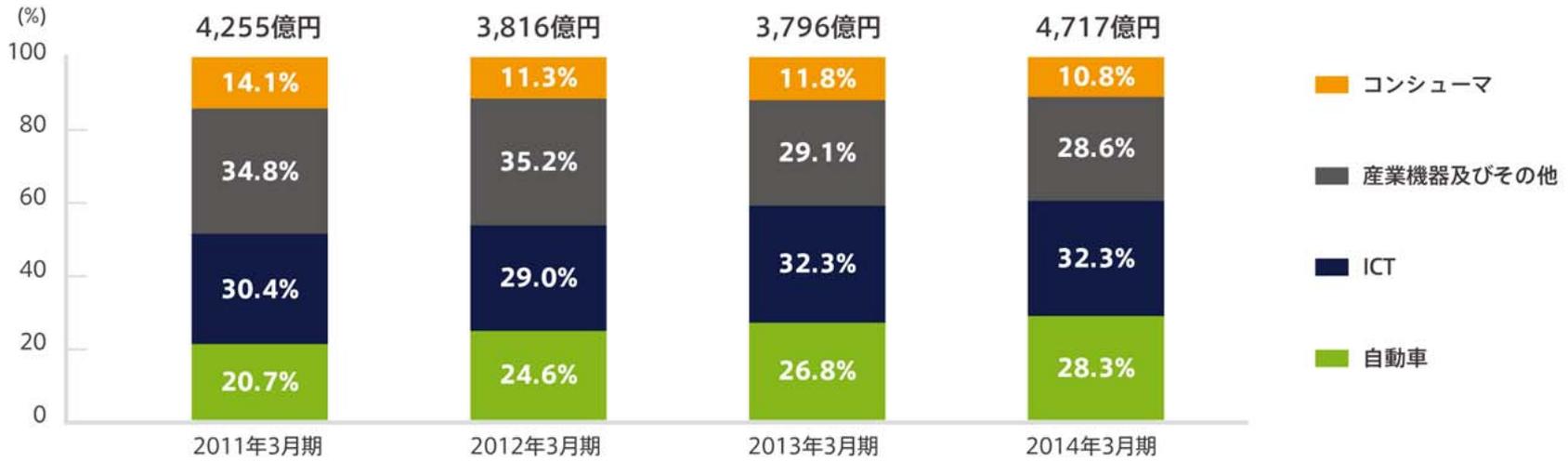
(億円)	2014年3月期 第2四半期累計実績	2015年3月期 第2四半期累計実績	増減
営業活動によるキャッシュフロー	573	439	△ 134
投資活動によるキャッシュフロー	△ 230	△ 450	△ 220
フリーキャッシュフロー (FCF)	343	△ 11	△ 354
財務活動によるキャッシュフロー	△ 214	△ 189	25
為替変動による影響額	88	134	46

現金同等物残高	2,354	2,442	88
---------	-------	-------	----

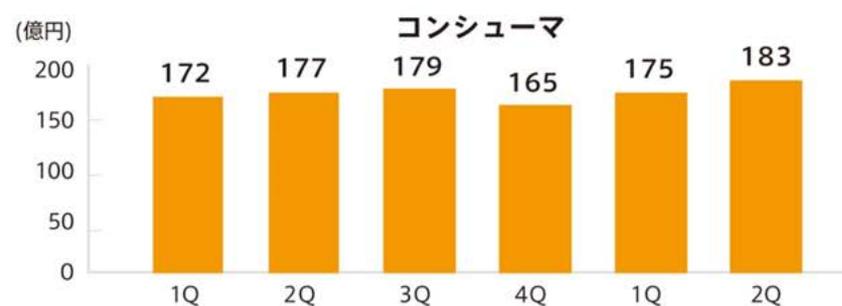
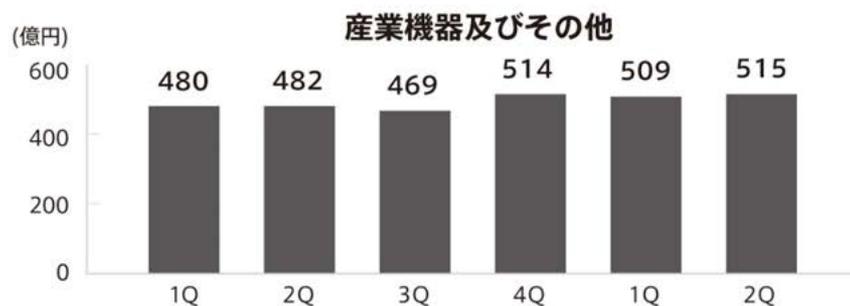
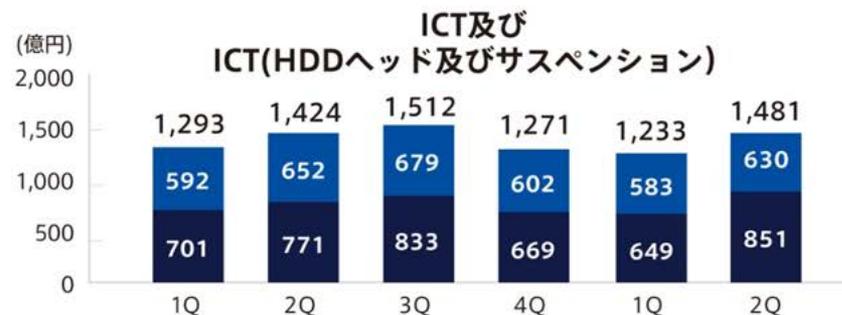
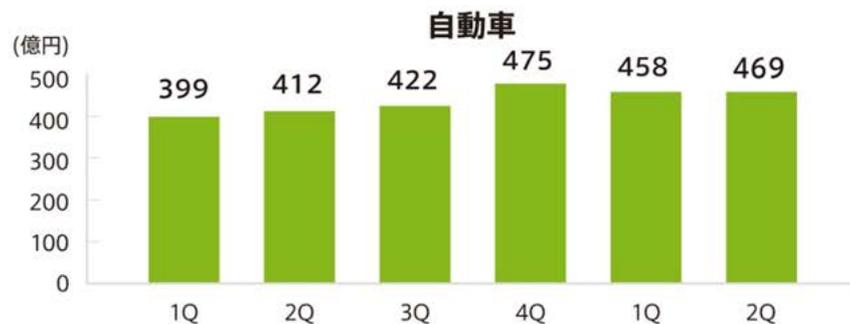
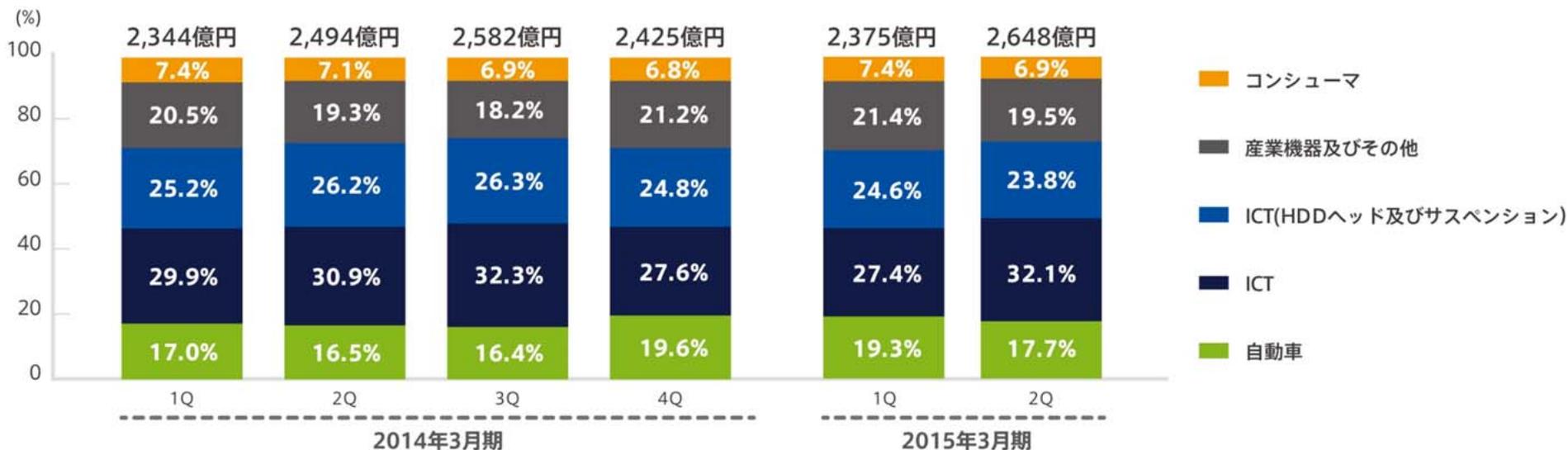
(億円)	2014年3月期 第2四半期累計実績	2015年3月期 第2四半期累計実績	増減
固定資産の取得	293	428	135
減価償却費	411	392	△ 19



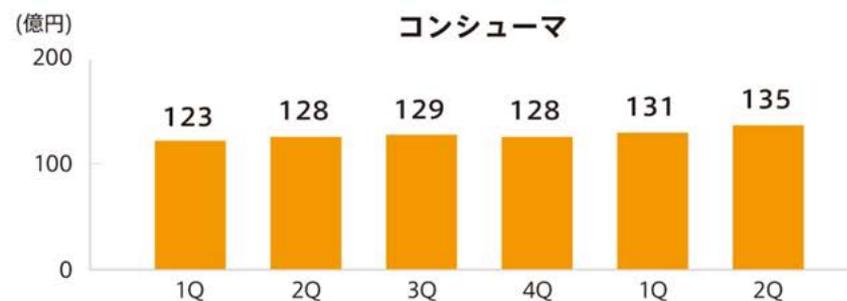
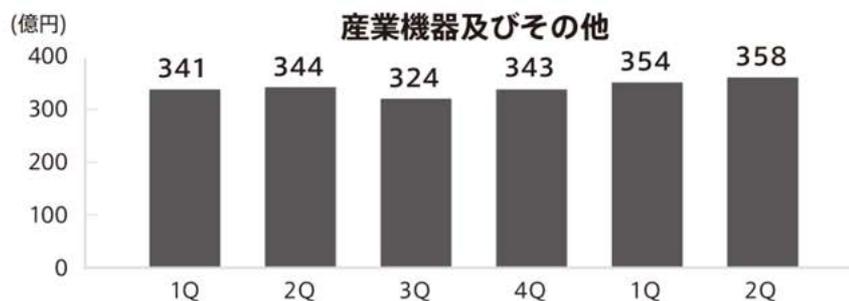
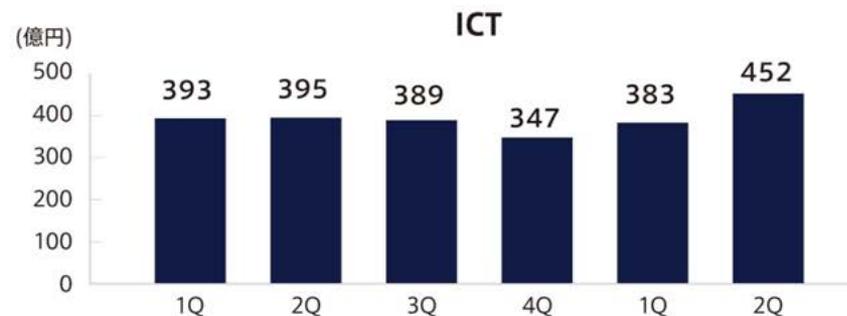
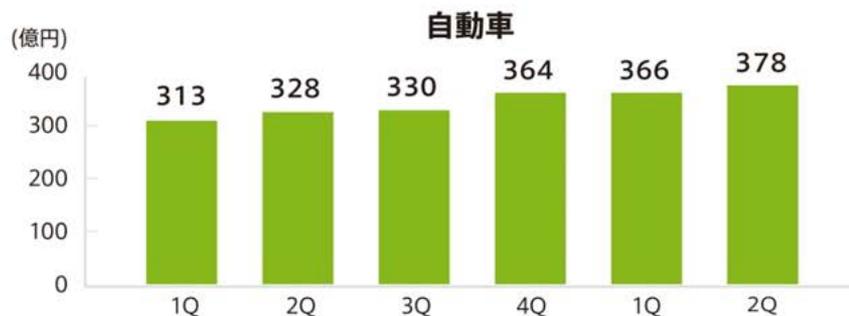
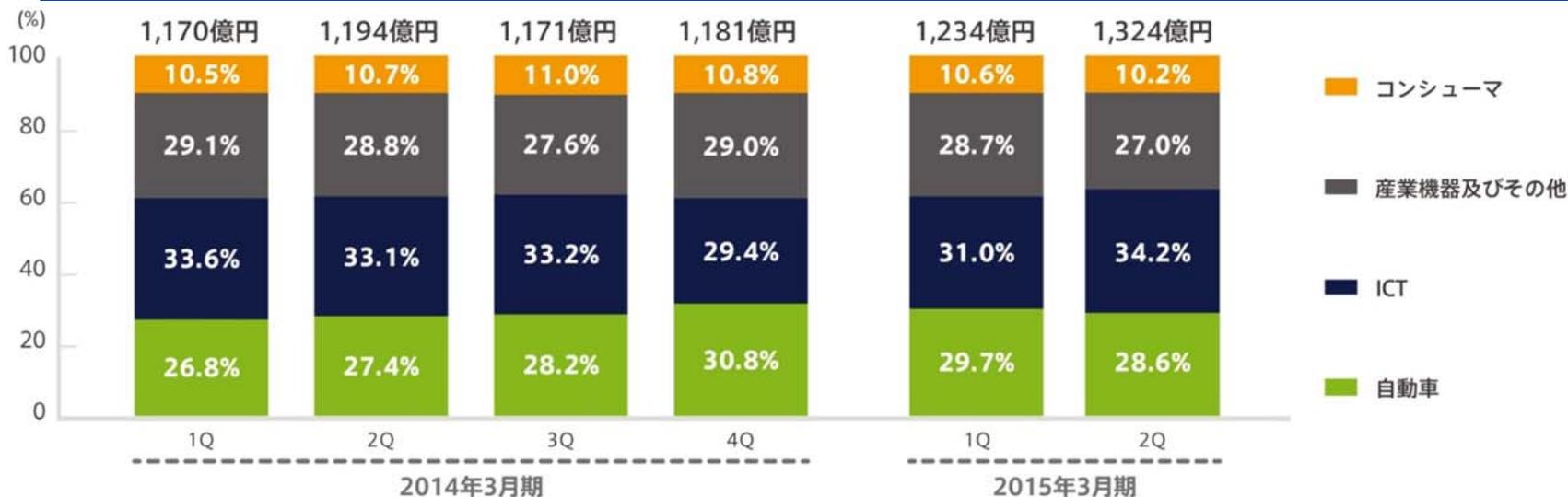
受動部品 分野別通期売上高推移 (2011年3月期~2014年3月期)

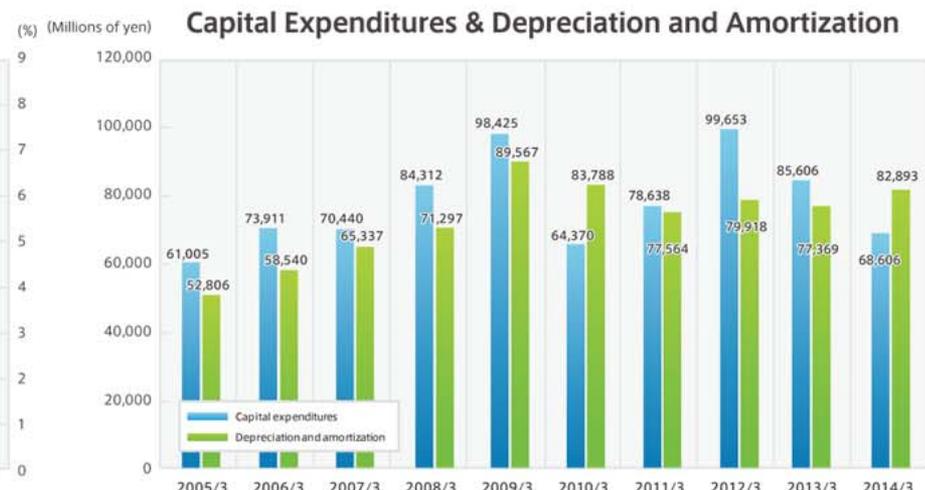
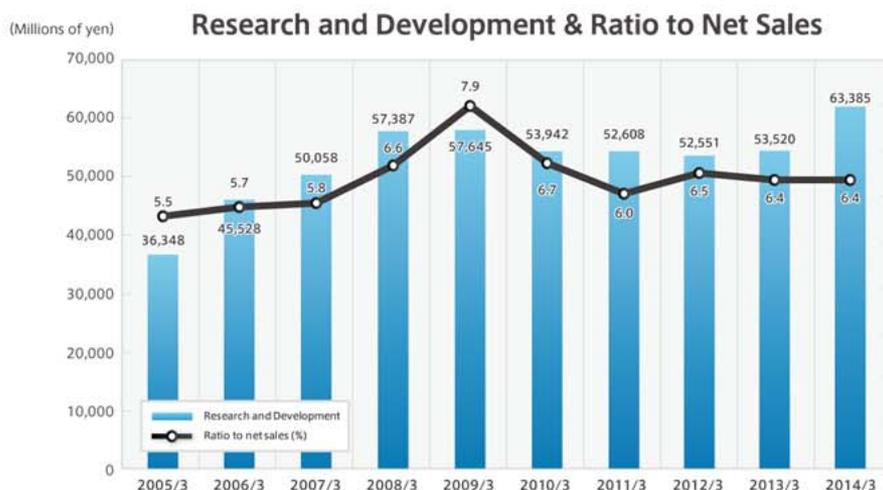
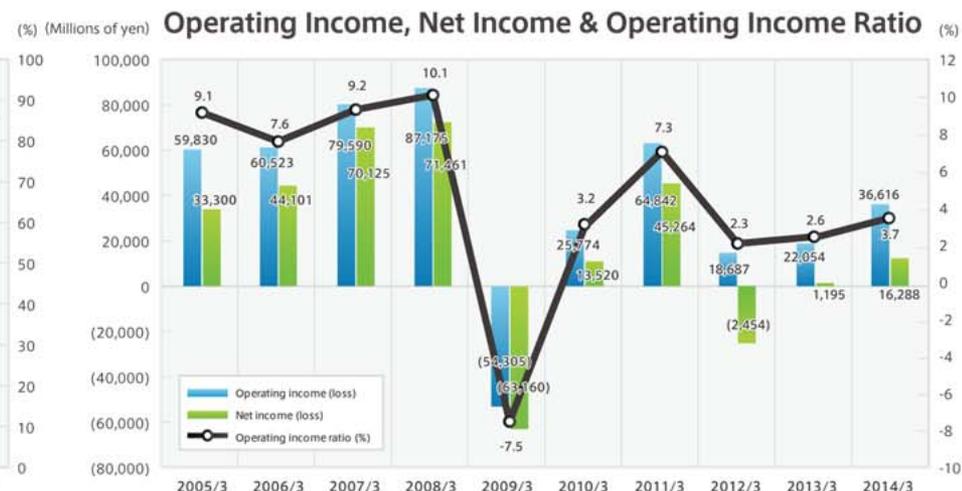
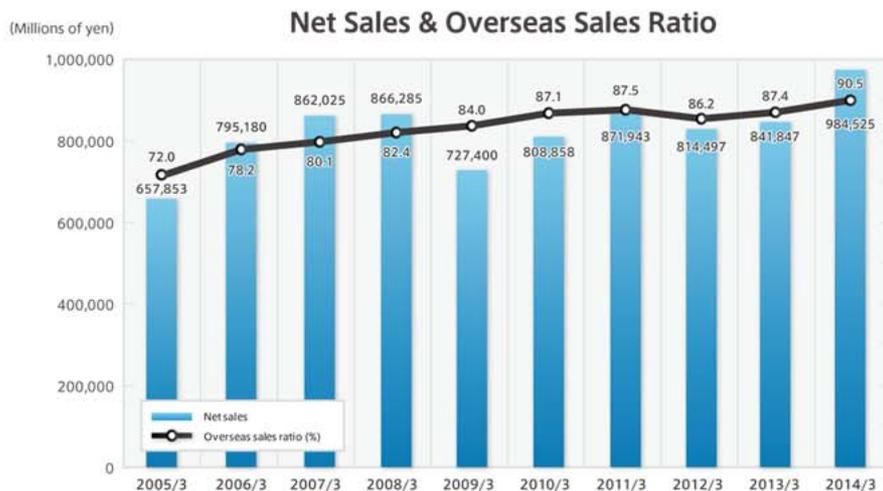


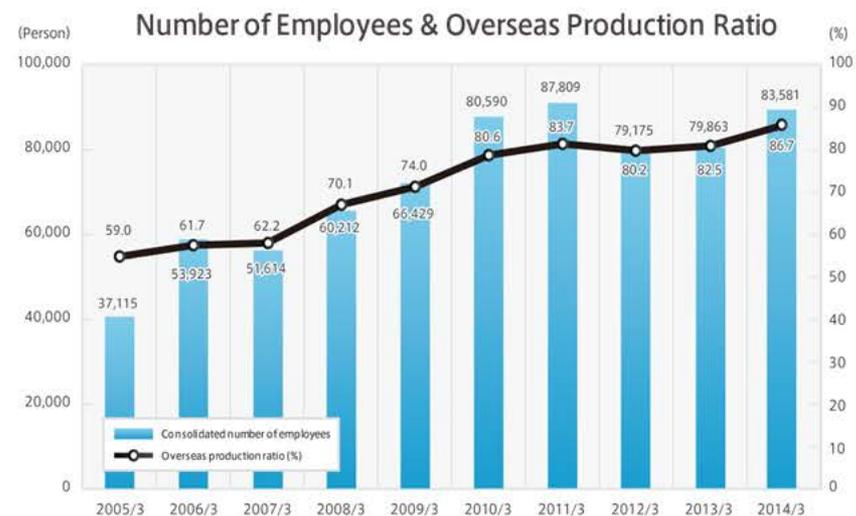
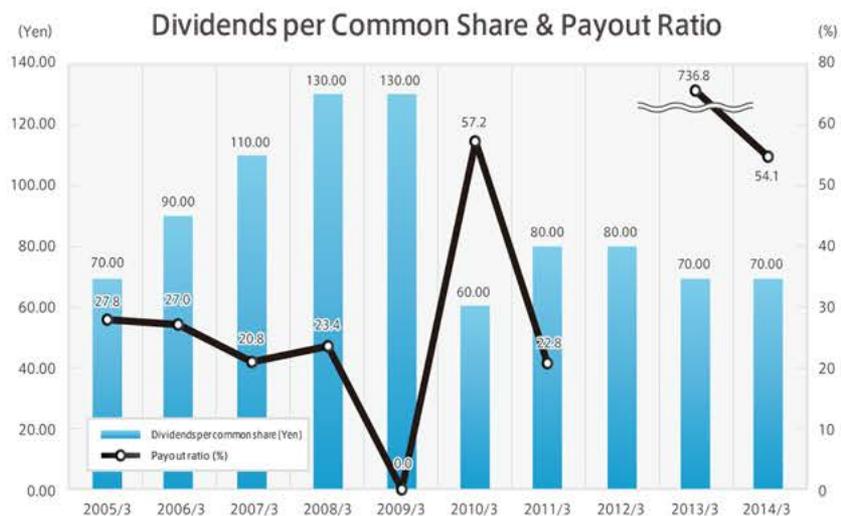
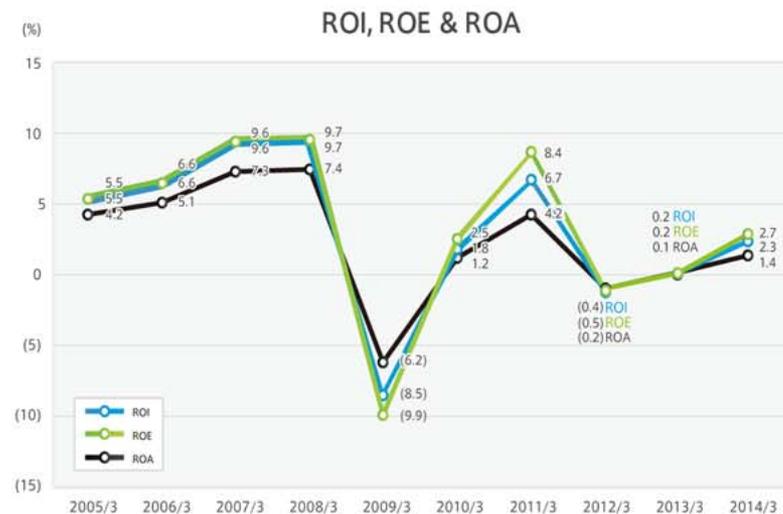
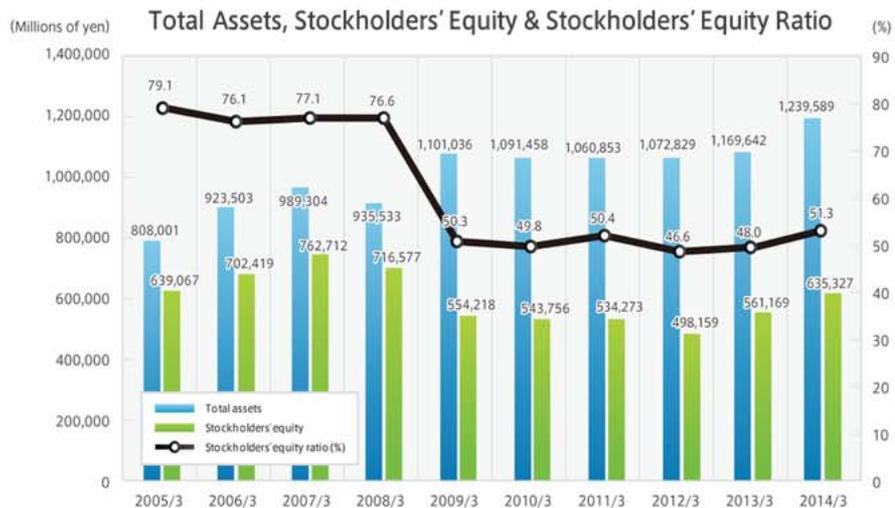
全社 分野別四半期売上高推移 (2014年3月期1Q~2015年3月期2Q)



受動部品 分野別四半期売上高推移 (2014年3月期1Q~2015年3月期2Q)







この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/2q_1.htm